

人間の安全保障とは

国家の安全保障の目的は外部からの脅威に対して国を守ることです。人間の安全保障はこれとは対照的に、個々の人間を守ることに主眼を置いています。

国家が安全だからといって、必ずしもその国の人々が安全であるわけではありません。もちろん外部の攻撃から国民を守ることは個々の人間の安全にとって必要な条件ですが、それだけでは十分ではないのです。実際に、20世紀には外国軍によって殺された人の数より、自分の国の政府によって殺された人の数の方がはるかに多かったのです。

現在、人間の安全保障という言葉は、国家間の戦争、内戦、ジェノサイド（集団殺害）、移動を強いられる人々など、相互に絡み合った複合的な脅威を説明する際に広く用いられています。人間の安全保障とは、最も控えめに言うのであれば、暴力からの自由、そして暴力の恐怖からの自由を意味します。

人間の安全保障と国家の安全保障は相互に補完しあうべきものであり、通常実際に補完しあっています。しかしいつもそうであるとは限りません。国家が弱体で、地方の武装勢力や民兵がはびこるのにまかせていたり、国家が強大で、国家自体が拷問や裁判抜き処刑などの虐待を行ったりすることで、人間の安全保障は脅かされうるのです。人間の安全保障という言葉を用いる人は誰でも、その第一の目的は個々の人間を守ることであるということに異論はないでしょう。しかしどんな脅威から守られるべきなのかに関しては依然論争が続いています。

人間の安全保障の「広義」の概念が初めてまとめられたのは、国連開発計画（UNDP）が1994年に発表した人間開発報告書でした。現在、広義の概念においては、人間の安全保障は2つの柱、すなわち欠乏からの自由と恐怖からの自由に基づいていると考えられています。広義の人間の安全保障には食料の確保、必要最低限の住居、貧困からの保護が含まれ、「人間の尊厳に対する脅威」からの保護も含まれることがあります。こうした考えを支持する人々は、飢餓、疾病、そして自然災害によって亡くなる人が、戦争やジェノサイドやテロなどで亡くなる人よりもはるかに多いと主張していますが、これは正論です。そしてこれらの脅威は、たいてい相互に関連しています。

これに対し「狭義」の概念では暴力からの自由に焦点を当てます。この概念には犯罪的暴力だけでなく政治的暴力も含まれます。この2つに境界線を引くことはなかなか難しいからです。銃で守りながら麻薬を栽培している犯罪者集団と、反乱の資金を得るために麻薬を栽培している反政府勢力と、実際的な違いがあるでしょうか。非番の兵士が

性暴力をふるうことと、戦争犯罪となりうる軍事作戦としての意図的なレイプと、境界線はどこにあるのでしょうか。

人間の安全保障に対するこれら2つのアプローチは、両方とも人間を中心としたものであり、対立的というより補完的なものです。しかし「広義」の概念は貧困からジェノサイドまで全てを含んでいるため、あまりに包括的すぎて、これまでのところ実際の政策へと展開するにはあまり役立っていないようです。

この小冊子は「人間の安全保障報告書 2005 年版」(オクスフォード大学出版)と「人間の安全保障概要 2006 年版」のデータに基づいており、人間の安全保障の「狭義」の概念に沿っています。世界で起きた暴力を伴う紛争とその深刻度を明らかにするものです。

内容は以下の5つの章から成り立っています。

第1章：国家による戦争遂行

第1章では政府軍が参加する武力紛争は、国家間紛争および内戦ともに減少してきていることを見ます。

第2章：武装勢力と戦場

第2章では政府軍が参加しない武力紛争と、ジェノサイドやその他の「一方的な」民間人^{きつりく}大量殺戮を検証します。

第3章：死者数

第3章ではあらゆる種類の武力紛争や一方的な暴力によって死亡した人々の数に関して、報告された死者数がどの程度信頼できるかを問います。

第4章：人権侵害の国際比較

第4章で明らかになるのは、拷問、子供の兵士、民族浄化、そしてその他の重大な人権侵害に関して信頼にたる数字がほとんどないということです。しかし国家間で比較が可能なものもあります。

第5章：戦争と平和の要因

第5章では武力紛争やその結果の死者数が減り続けている理由を探ります。

■編著者 世界銀行 / 人間の安全保障報告プロジェクト

世界銀行
World Bank
<http://www.worldbank.org/>

人間の安全保障報告プロジェクト
Human Security Report Project (HSRP)
<http://www.hsrgroup.org/>

■訳者 小松 由紀子 (こまつ ゆきこ)

東京外国語大学卒，東京銀行を経て，現在日本語教師。

訳書

「企業の社会的責任（CSR）の徹底研究」[共訳]（一灯舎，2007年）

「中学生ベンのe起業奮闘記」（同，2008年）

他

世界銀行アトラス 人間の安全保障はどう守られているか

発行 2009年10月26日
編集者 世界銀行 / 人間の安全保障報告プロジェクト（HSRP）
訳者 小松 由紀子
発行者 平野 智政
発行所 株式会社 一灯舎
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-11 OPT ビル 3F
Tel : 03-5981-2071 / Fax : 03-5981-2072
発売元 株式会社 オーム社
〒101-8460 東京都千代田区神田錦町 3-1
Tel : 03-3233-0641（代表） / Fax : 03-3233-3440
印刷所 株式会社 平河工業社
<検印省略>許可なしに転載，複製することを禁じます。
乱丁本，落丁本はお取り替えます。